

## 佐賀県損害保険防犯対策協議会総会を開催

～佐賀県警をはじめ顧問団と不当不正請求等排除に向けて連携強化を確認～

日本損害保険協会佐賀損保会(会長:岩田 高明・東京海上日動火災保険株式会社 佐賀支店長)では、11月21日(木)に佐賀市内で、第41回佐賀県損害保険防犯対策協議会総会を開催し、来賓・会員など22名の出席がありました。

開会にあたり、同協議会岩田会長から、長きにわたる関係機関からの協力・支援に対し謝辞を伝え「損害保険に関連する犯罪予防と排除に努め、事業の健全化を図るとともに本協議会の目的を確認し、その使命を果たすべく、関係機関の皆様と連携しながら、より一層の努力をしていく」と挨拶がありました。

来賓の佐賀県警察本部 大坪 光 組織犯罪対策課長からは「SNSを利用した犯罪が首都圏内で頻発していることから、県民からも『自宅に営業と称した訪問があったが大丈夫か』という相談が激増しており、取り締まりを強化している。また、依然として損害保険を悪用した交通事故に絡んだ犯罪が発生している。不正請求が疑われるような場合は、なるべく早い段階から警察に相談いただき、連携して対応していきたい。」と挨拶をいただきました。

また、財務省佐賀財務事務所や佐賀県弁護士会からも保険犯罪防止等に向け、引続き連携下さる旨のお言葉をいただきました。

講演では、佐賀県警察本部 刑事部組織犯罪対策課 小川 寛 暴排補佐から「最近の反社会的勢力の情勢について」、続いて、佐賀県警察本部 交通部交通指導課 北村 裕司 特別捜査補佐から「県内の交通情勢と交通事故保険金詐欺事件の現状について」講話をいただき、当損保会より感謝状を贈呈した保険金詐欺を例に説明があり、「今後も、このような保険金詐欺を1件でも多く検挙したいと考えており、保険会社にも捜査に協力をお願いしたい」旨の発言がありました。最後に、佐賀県暴力追放運動推進センター 大坪 正文 専務理事から、センターの事業概要やクレームへの毅然とした対応の重要性につきご説明をいただきました。

その後、損害保険に関する犯罪の予防と排除と、事業の健全な発展を図るための決議を全員一致で採択しました。

損害保険業界では、1979年から民事介入暴力対策および不正請求対策のため、関係機関と連携を図り、健全な損害保険事業の運営を行うため、全国に協議会を設けました。当協議会は1981年に設置され、会員のほか、関係機関から来賓をお招きして総会を開催しています。本年度の開催概要は次の通りです。

### 第41回 佐賀県損害保険防犯対策協議会総会 式次第

1. 開会挨拶 佐賀県損害保険防犯対策協議会 岩田 高明 会長 (東京海上日動)
2. 来賓及び出席者紹介
3. 来賓ご挨拶 佐賀県警察本部 刑事部組織犯罪対策課長 大坪 光 様  
財務省 佐賀財務事務所 理財課長 平島 健 様  
佐賀県弁護士会 民事介入暴力特別委員会副委員長 田代 英毅 様
4. 令和5年度活動報告及び令和6年度活動方針
5. 決議文唱和・採択 佐賀損害サービス部会 友添 晋一郎 部会長 (AIG損保)
6. 講演 佐賀県警察本部 刑事部組織犯罪対策課 暴排補佐 小川 寛 様  
佐賀県警察本部 交通部交通指導課 特別捜査補佐 北村 裕司 様  
佐賀県暴力追放運動推進センター 専務理事 大坪 正文 様
7. 閉会の辞 佐賀損害サービス部会 友添 晋一郎 部会長 (AIG損保)

(注)「佐賀損保会」および「佐賀損害サービス部会」は、日本損害保険協会の組織です。



開会挨拶する岩田会長



挨拶を行う佐賀県警大坪組対課長



来賓挨拶を行う平島財務事務所課長



来賓挨拶を行う田代弁護士



活動方針を提案する友添部会長



講演をする佐賀県警小川暴排補佐



講演をする佐賀県警北村補佐



講演をする大坪暴追センター専務理事



司会進行を務める岩崎副部会長